

高瀬川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

～小川原湖の豊かな自然環境の保全と放水路整備による治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、高瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和33年9月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



昭和33年9月洪水



小川原湖より栄沼地区を望む



東北町沼崎地区の家屋浸水

■河川における対策

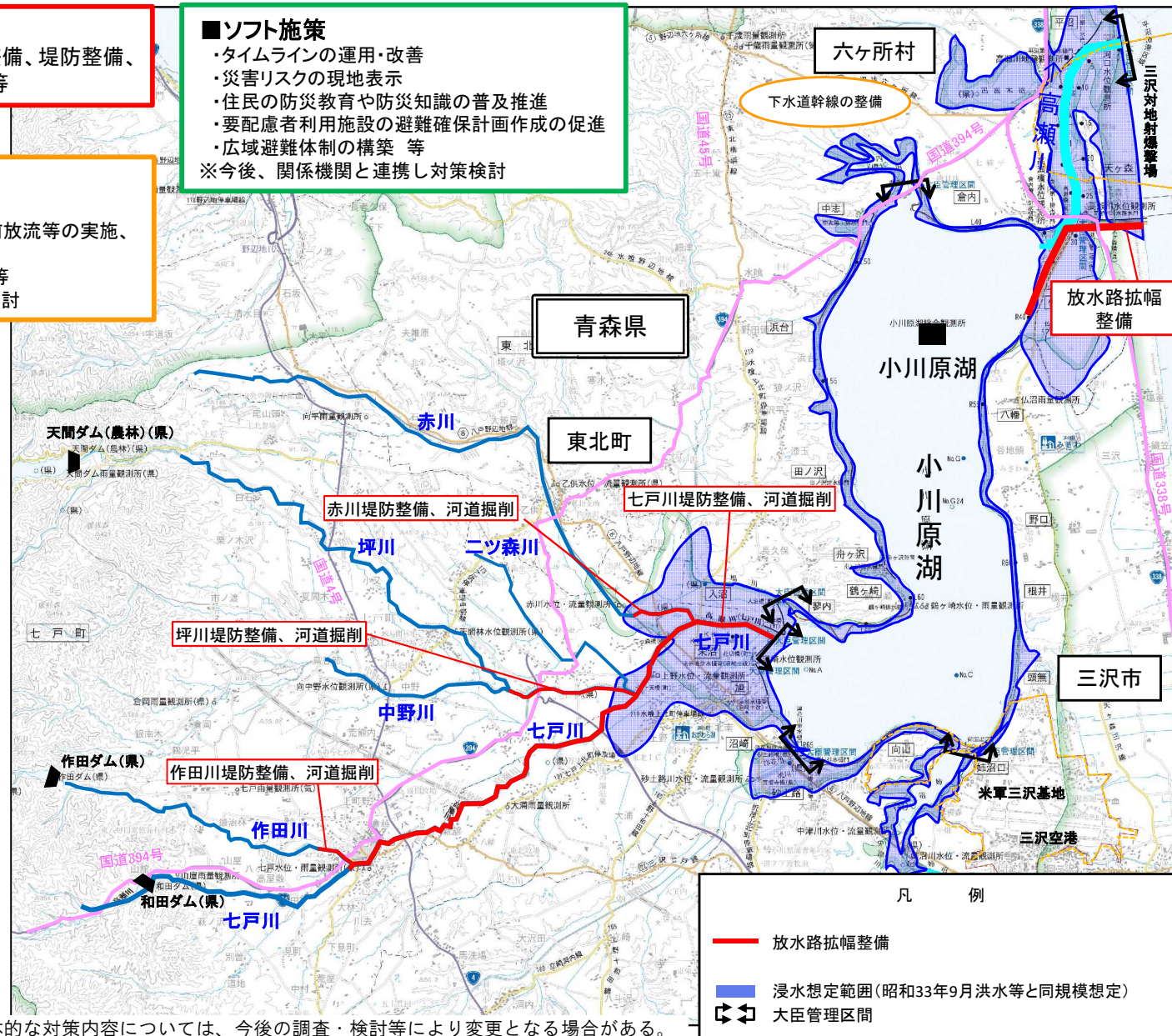
対策内容 放水路拡幅整備、堤防整備、河道掘削 等

■流域における対策

・下水道等の排水施設整備
・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
（関係者：国、青森県など） 等
※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト施策

・タイムラインの運用・改善
・災害リスクの現地表示
・住民の防災教育や防災知識の普及推進
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
・広域避難体制の構築 等
※今後、関係機関と連携し対策検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。